

RMAN および、SQL/Plus での OS ユーザー認証

・ **コントロール (制御) ファイル**に障害が発生した場合の接続方法

この場合の Oracle への接続認証は、Oracle パスワード・ファイルが使用できない状態なので、Oracle で設定されているユーザーは、すべて使用できない

使用できるユーザーは、オラクルに OS 認証で接続が許可されている OS のユーザーだけである

すなわち、OS のユーザーの中で OS 認証の許可設定がおこなわれているものだけである

なお、OS ユーザー認証を行う操作については、Oracle インスタンスが起動している**サーバー本体**のキーボードで行うこと

【OS へのログイン・ユーザー】

Oracle サーバーへの OS でのログインは、Oracle をインストールしたユーザーでログインする

通常は、Administrator である

【SQL/Plus へのログイン・ユーザー】

OS 認証を使ったユーザーでログインする

```
C:\> sqlplus /nolog
```

```
sql> conn / as sysdba
```

※ Windows の administrator ユーザーへの接続に対しては、sysdba での接続しか許可されていないので、注意

データベースの起動は、NOMOUNT 状態でしかスタートできない

```
sql> STARTUP NOMOUNT
```

【RMAN へのログイン・ユーザー】

TARGET データベースへは、OS 認証を使ったユーザーで行う

CATALOG データベースへは、RMAN レジストリを管理しているユーザーで行う

```
c:\> rman TARGET / CATALOG ユーザー名/パスワード
```

@接続識別子

もしくは、

```
c:\> rman
```

```
rman> connect TARGET /;
```

```
rman> connect CATALOG rman/OraTest@10.0.8.50:1521/orcl.workgroup;
```